

# — 立教大学 —

2月12日 経営・観光・コミュニティ福祉・現代心理学部 英語

## 解答

I

1. ロ      2. ニ      3. ハ      4. イ      5. ハ  
6. ロ      7. ニ      8. ニ      9. イ      10. ハ

II

1. ロ      2. イ      3. ニ      4. ハ      5. ロ  
6. イ      7. ニ      8. ロ      9. ハ      10. ニ

III

1. ハ      2. ハ      3. イ      4. ロ      5. ロ  
6. イ      7. ロ      8. ニ      9. ハ

IV

- (1). ハ      (2). イ      (3). ハ      (4). ニ      (5). ニ  
(6). ロ      (7). ハ

V

- (1). further  
(2). one  
(3). like  
(4). impact  
(5). with  
(6). physical

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

## 解説

### I

3. 第3段落第4文参照。
4. 第5段落から第7段落にかけて触れられている。特に第7段落第2文を参照。
6. 第6段落第4～5文参照。
7. coin ～「(硬貨)～を铸造する／(新語など)～を作り出す」
10. 本文の趣旨は鳥の名前の由来に関するものであるため、「name」という単語が含まれる可能性は高いと考えられる。従って選択肢ハを正解とする。

### II

2. 第1段落第4～5文参照。
4. 下線部付近で、被験者に負荷をかけていく実験について述べられている。第4段落第6文では、画面に映る75の単語をできるだけ覚えるという作業をさせて、精神的負荷をかける実験について書かれている。これらの作業が楽なものであるならば、この実験は意味がなくなってしまう。
5. 第5段落第1文に「身体機能の低下は精神機能のそれよりも25%と大きかった」とあることから判断できる。
7. リード文には「アスリートに、運動をする前に頭を使う作業をさせておくことは、高地トレーニングを行うようなものである。というのはその双方の場合においてアスリートは...(から)」とある。要するに「運動をする前に頭を使う作業をさせておくこと」と「高地トレーニング」に共通して当てはまることを選ぶ問題。よって、正解となるのは選択肢ニ「難しい条件に適応しなければならない」である。「高地トレーニング」は低酸素状態という「難しい条件」に身体を適応させることを要求する。「運動をする前に頭を使う作業をさせておくこと」が本来は筋肉に向かうべき酸素などを脳に回してしまって「難しい条件」を構成することは第4～6段落の内容から読み取ることができる。
8. 選択肢ハに含まれる Tiredness は本文の主題とは言えない。一方、選択肢ニについては Dualistic Thinking という本文で一貫して論じられているキーワードが含まれている。また、最終段落でも全体のまとめとして、肉体と精神の密接な関係性について触れられている。以上のことを踏まえて考えれば良い。

## III

1. Because Richard is a good student, he **is** bound to pass the entrance exam this February.  
be bound to V 「V するに決まっている」
2. We often use **the** word “would” in sentences with “if,” because we use “would” when we imagine a situation or action.  
word は可算名詞であるため、冠詞が必要。
3. When Frank went to Boston **a** couple of years ago, he stayed with his friend Toby, who had been living there only a short time but knew the city well.  
a couple of years ago 「2、3 年前」
4. Kate was on her hands and knees **because** she was looking for a tiny button that she had dropped.
5. Plans to build a new concert hall have **been** held up due to financial problems.  
hold up 「～を遅らせる／延期する」という意味。計画は「延期される」ので、受動態になる。
6. What discouraged Stella from applying **for** the job was its low salary.  
apply for ～ 「～に応募する」
7. I have no idea who Hanako Hamada is. I've never heard **of** her.  
have no idea (as to) 疑問詞～ 「～がわからない」  
hear of ～ 「～について噂を耳にする」
8. I rang the switchboard and asked if they could put me through to the person **to** whom I could make a complaint.  
make a complaint to ～ 「～に苦情を言う」という意味。前置詞 to が関係代名詞の前に置かれて「前置詞＋関係代名詞」になった形である。
9. He was desperate to play down the problem, not **only** to save face but also to spare you any embarrassment.

## IV

## A

...

Brittany 「まったく。あの 2 人が踊れるって知ってた？」

Abigail 「ううん。知らなかった。(1) あたし、あの 2 人の大ファンなの」

Brittany 「ほんとに？ あたしも！ とくに主演の人が好きだったの。彼女って知的な顔してるじゃない。(2) でもあのファッションはピンと来ないのよね」

Abigail 「そう？ あたしはいいと思うけどな」

...

B

Gretta 「簡単じゃないわね。しかも、ここしばらくは週に3回母親のところに行ってるの。(3) 母は車の運転できないし、家の周りにお店もないのよ」

...

Nancy 「そんな中でどうしたら病院の患者まで面倒見れるのよ?」

Gretta 「実際、仕事が息抜きになるの。時々家から出る良い言い訳になるから。夫と四六時中家にいるのは大変なのよ。どれほど愛していてもね」

Nancy 「(4) でも、何かもらってくる心配はないの?」

Gretta 「ないわ。マスクしてるし、あたし丈夫だし。仕事もそんなに大変じゃないの」

C

...

Marianne 「今夜は猫を外に出しておくこともできるわ。(5) 普段も昼の間は外に出しているのよ。夜、家に帰ってきた時だけなの、中に入れてあげるのは」

Aaron 「ダメダメ。家中猫の毛だらけじゃないか。宙にも浮いてる。ああ、やだ。もう喉が痛くなり始めた。間もなく咳と涙が出始めるよ」

Marianna 「ほら。(6) このマスクしなさい。立体マスクよ。口の前に隙間があるから、息がしやすいの。花粉や埃、微粒子も防ぐようになってるのよ」

Aaron 「ありがと。役に立たないと思うけど。他にないもんね。あれ、ちょっと待った。(7) おばさん、猫好きじゃなかったよね」

Marianne 「そうよ。あたしはね。娘があつ猫に夢中なのよ」

**その他の大学・学部の解答解説はコチラ!**

**増田塾 2019 解答速報ホームページ**



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます!